

より水害に強い東部低地帯とするために ～河川施設の耐震補強～

江東内部河川のしくみと特徴

江東内部河川は、荒川と隅田川で囲まれた東部低地帯を流れる荒川水系の一級河川です。この河川のうち、水位低下河川（小名木川、旧中川、北十間川、横十間川）は、過去の地盤沈下により、海の干潮面より地盤が低い地域を流れる河川となりました。

平常時は、河川の水を排水機場から荒川に吐き出して水位を下げ、遊歩道を開けるようにしています。集中豪雨など大雨時には、水位低下河川に雨水が入り込むため、遊歩道に水が上がる場合があります。

江東内部河川の水位低下河川と関連施設



北十間川



横十間川



扇橋閘門



小名木川



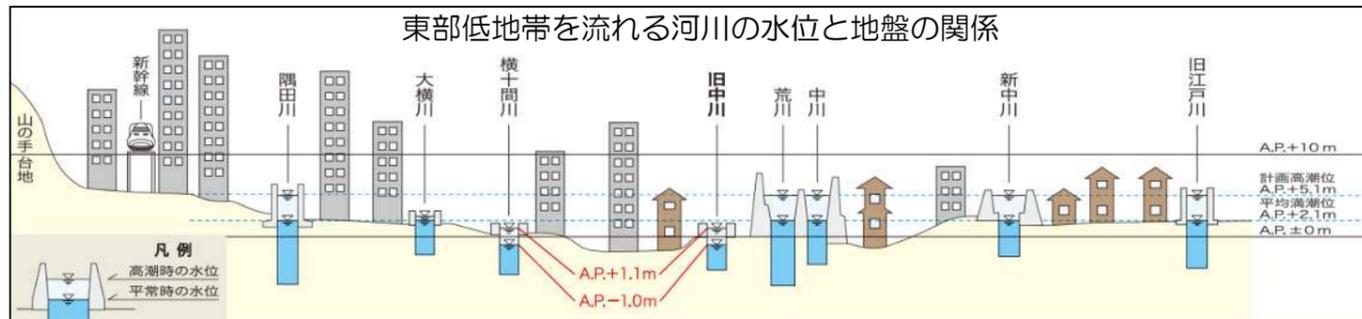
木下川排水機場



旧中川



小名木川排水機場



耐震対策の必要性

東京都では、東日本大震災後、隅田川などの防潮堤や水門・排水機場の地震への強さを調査しました。

その結果、将来にわたって考えられる最大級の地震が発生した場合、施設が十分に機能しない可能性があることがわかりました。

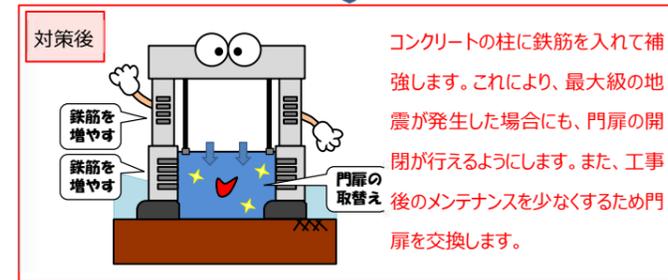
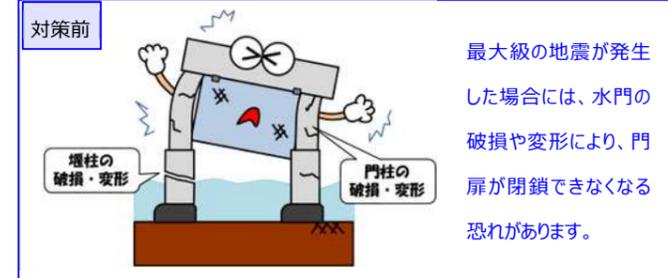
このため、水門や排水機場の耐震補強を行い、地震に強い施設としていきます。



耐震対策の内容

水門などでは、大きな地震の後でも門扉が確実に閉められるよう、コンクリートの柱の補強を中心に行います。また、水門や排水機場の管理棟も、建物の補強や万が一の浸水に耐えられるよう、機械類を高い位置に設置していきます。

水門などの対策効果



管理棟などの対策効果



大雨の時にはご注意ください！

近年増加する集中豪雨に対応するため、大雨注意報が発令された場合には、平常時よりも水位を下げ、雨水を溜める能力を確保します。

また、河川内の遊歩道に水が上がることもあるため、江東区と連携して、旧中川などの水位低下河川に看板を設置して、注意を呼び掛けていきます。

注意

大雨の時は川の水が増えて危険なので立ち入らないでください。

東京都・江東区
旧中川などで設置する看板の例

問い合わせ先

東京都江東治水事務所特定施設建設課
江東区土木部河川公園課

電話 03-3692-4971 FAX 03-3692-9955

電話 03-3647-2538 FAX 03-3647-9216